

# 平成26年度 市民病院事務局長「政策宣言」達成状況報告

市民病院事務局長 安田 秀樹

## ○ 平成26年度重要事業

<b>事業名</b>	<b>診療棟耐震化整備事業の推進</b>
<b>目標</b>	市内の災害医療の中心的施設として、市民の安全・安心を確保するとともに、救急医療体制の強化や外来診療部門等の患者サービスを充実させるため、診療棟の増改築工事を推進します。
<b>年度末達成状況</b>	工事の進捗率は、全体で32%程度であり、概ね予定どおり進展しています。
<b>自己評価</b>	同一敷地内で診療を行いながら増改築工事を施工することから、患者の利便性と安全確保に配慮しながら工事を進めています。今後も工事の推進に努めていきます。

<b>事業名</b>	<b>地域包括ケア病棟の設置</b>
<b>目標</b>	本年度の診療報酬改定では、病床機能が見直され、在宅医療重視へと大きく方針が変更されています。当院においても改定に沿った医療体制を構築するため、新たに地域包括ケア病棟を設置し、患者さんの在宅復帰を促進していきます。
<b>年度末達成状況</b>	平成26年9月から4階病棟を地域包括ケア病棟として運用を開始しました。
<b>自己評価</b>	地域包括ケア病棟の設置は国の方針に沿ったものであり、病院運営上も非常に重要な決断であったと考えています。今後も適切な医療サービスの提供に努めていきます。

<b>事業名</b>	<b>地域連携と広報活動の強化</b>
<b>目標</b>	開業医の皆様との連携（病診連携）や病院間での連携（病病連携）をより進め、紹介患者の増加に努めます。 病院の広報については、病院が発行している病院広報やホームページのほか広報いみず等を活用して、積極的に取り組みます。また、出前講座などの院外活動を通じて、市民の健康推進や疾病予防にも力を入れていきます。
<b>年度末達成状況</b>	本年2月末現在の紹介患者数は、2,686人で、前年度に比べ66人増と2.5%増加しています。また、出前講座については、市民の要望に応えるため、内容を大幅に見直しました。
<b>自己評価</b>	紹介患者数が年々増加していることや、病院広報の発行や出前講座などの諸活動により、病院の認知度は高まってきているものと考えています。